

## 「言葉」

「学道の人、言を出さんとせん時は、三度顧て、自利利他の為に、利あるべければ、是れを言ふべし。利なからん時は止べし。如是、一度にはしがたし。心に懸て漸々に習うべき也。」

『正法眼蔵随聞記』

「愛語というは、衆生をみるにまづ慈愛の心を  
おこし、顧愛の言語をほどこすなり。」

「愛語能く廻天の力あることを学すべきなり。」

『修証義』

令和三年六月二十四日

加茂法話会

寒河江 文洋